



# 市議会だより

## OTA City council No.87

発行:太田市議会【太田市浜町2番35号 TEL.0276-47-1806 FAX.0276-47-1860】

### 主な掲載記事

- P.2 ~P.6 ……6月定例会一般質問の要旨
- P.6 ~P.7 ……常任委員会の審査結果  
5月臨時会の議案審議結果など
- P.8 ……6月定例会の議案審議結果など

## 開会を彩る豊かな響き 3年ぶりの議場演奏



市議会6月定例会初日、開会前の議場でおおた芸術学校附属オーケストラ「ジュネス」による演奏会が行われました。「ジュネス」は、各楽器のオーディションに合格した太田市近郊の小学5年生から高校3年生までの青少年で構成されるオーケストラです。

矢野和弘芸術監督指揮のもと、交響曲第2番 ニ長調 作品43より(J.シベリウス作曲)、Official 髭男 dism メドレーより(福島弘和編曲)、ポルカ「雷鳴と稲妻」(J.シュトラウス2世作曲)の3曲が演奏されました。

議場内に響くその美しい音色に、議員や傍聴席を埋め尽くした市民からは大きな拍手が送られました。

## 就任のごあいさつ



議長:岩崎喜久雄



副議長:高藤幸偉

このたび、5月13日の臨時会におきまして、太田市議会の第17代議長、第19代副議長に就任いたしました。

誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重大さを痛感しております。

さて、新型コロナウイルス感染症との戦いは、いまだ先行きが見えない状況ではありますが、感染防止対策の強化はもちろんのこと、「新たな日常」における社会活動の回復に向け、全力で取り組んでいく必要があります。

このような中、市議会が果たす役割は、ますます大きくなっていくものと考えております。他にも少子高齢化への対応や子育て支援、あるいは防災対策など、市民の平穏な生活を守るための課題が山積しております。

こうした課題に対応するべく、市民の皆さまから負託を受けた二元代表制の一翼である議会の役割を十分に果たせるよう、諸課題の解決に尽くしていく所存でございます。

今後とも、市議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

## 9月定例会の日程

- 8月31日(水) 本会議 一般質問
- 9月 1日(木) 本会議 一般質問
- 9月 2日(金) 本会議 一般質問 市長提出議案の説明
- 9月 6日(火) 本会議 議案質疑 委員会付託
- 9月 8日(木) 総務企画委員会 市民文教委員会
- 9月 9日(金) 健康福祉委員会 都市産業委員会
- 9月13日(火)~15日(木) 決算特別委員会
- 9月22日(木) 本会議 委員長報告など

※原則9時30分開会。日程・時間は変更の場合あり。

⚠️ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、傍聴の自粛をお願いする場合があります。  
詳しくは太田市議会ホームページをご覧ください。お電話等でお問い合わせください。

太田市議会事務局  
☎0276-47-1806 FAX 0276-47-1860  
E-mail:otagikai@mx.city.ota.gunma.jp

# 6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



## 公立小中学校の給食費について



創政クラブ 大川 陽一

**議員** 所得制限を設けず、医療・介護・教育といった基本的なサービスを、必要とする全ての人に無料で提供する、ベーシックサービスという考え方が話題となっています。このベーシックサービスの考え方を学校給食に取り入れるべきであると考えますが、市長の所見を伺います。



**市長** 給食費については、できるだけ早く無料化を実現したいと考えています。中学生については、本年9月定例会で提案し、10月から無料化に踏み切りたいと考えています。また、小学生については、来年度からの無料化を目指していききたいと思います。

**議員** 無料化の実現を期待する一方、

財源が心配ですが、所見を伺います。  
**市長** 財源については、幼稚園や保育園の民営化、市街化区域への編入、下水道料金の改定等で生み出した財源により、確保できる見込みです。また、恒久的な財源確保が問題ですが、文部科学省が給食は食育であり、教育の一環と捉えています。長寿命化の時代を迎え、食育は大切な教育であり、国が税金で対応しなければならぬということに気付いてくれると信じていますので、太田市が先行していきたいと思えます。

**議員** 学校給食無料化の継続性について、所見を伺います。

**市長** 太田市が先行することで、国や県もついてくると考えています。また、行政改革を行い、効率的な行政運営によりコストを削減し、生み出した財源は子どもたちのために継続的に使っていくことが大切であると考えます。

- その他の質問  
・本市のパブリックトイレについて



## 安全・安心な交通政策について



創政クラブ 高田 靖

**議員** 道路の安全性の欠如により、他者に被害を及ぼした場合、管理瑕疵が問われ、道路管理者は被害者に賠償義務を負うこととなりますが、損害賠償事案を減らすための対策について伺います。

**都市政策部長** 道路の破損の早期発見、早期補修が重要であると考えており、道路保全課職員によるパトロール、区長や市民からの通報により対応しています。また、6月と12月を道路定期点検強化月間とし、全庁的な情報提供に取り組んでいます。その他、郵便局や第一生命保険㈱からも、協定に基づき、道路破損情報を提供いただいています。

**議員** スマートフォンの道路損傷通報アプリを導入する自治体が増えていますが、効果について所見を伺います。

**都市政策部長** デジタルトランスフォーメーションが推進されている現状を踏まえ、関係課と協議し、研究を進めたいと考えています。舗装の穴に関する情報が集まることで、早急な対応ができれば、交通事

故発生を抑える効果があると考えます。  
**議員** 太田市LINEアプリについて、道路の危険箇所以外にも、不法投棄物、市道にはみ出した樹木、生け垣、消えている防犯灯など、修繕が必要な箇所の情報を一元的に通報できるようカスタマイズすべきと考えますが、市長の所見を伺います。  
**市長** 物事は一元的に対応した方がよいと考えます。交通事故の多い路線や交差点は意識的に改修していく必要があると考えますので、担当課と話し合いながら、実行に移していきたいと思えます。



- その他の質問  
・小さなアイデアで効果的なナッジ理論の活用について



## 児童生徒の熱中症対策について



太田クラブ 八長 孝之

**議員** 教育現場における熱中症対策について伺います。

**教育部長** 学校では、国や県の通知や、市教育委員会で作成した熱中症対策フローに基づき、対策を行っています。具体的には、暑さ指数を参考に、活動内容の変更、活動時間の調整、小まめな水分補給、衣類の調整等を指導しています。

**議員** 体育や部活動時に着用している衣類とその素材等について伺います。

**教育部長** 体育の授業では、体育用Tシャツを着用しており、素材はポリエステル、または綿とポリエステルの混合繊維の学校がほとんどです。部活動では、各部でそろえて購入した、活動に適したTシャツを着用するなど、体育用Tシャツに替えての対応もしています。

**議員** より吸湿速乾性に優れた衣類を夏場の体育の授業や部活動時に着用することについて、所見を伺います。

**教育部長** 無地で単色のものや、体育や部活動に適したものの着用を認めるなど、

保護者の理解を得ながら、各学校で対応できるよう指導していきたいと思えます。

**議員** 部活動における熱中症対策について、より明確な指針を出すことで、生徒の安全確保や教員の負担軽減につながると考えますが、所見を伺います。

**教育部長** 猛暑日で部活動が危険と判断される場合、活動中止や時間制限等の措置を速やかに取れるように、市教育委員会からの指示を徹底したいと思えます。

**議員** 児童・生徒の熱中症対策について、市長の所見を伺います。

**市長** 自ら危険を察知し、判断する能力を培うことができるような教育が必要であると考えます。



## 本市のウィズコロナ・アフターコロナの現状と今後の展開について



創政クラブ 長 ただすけ

**議員** 行政のデジタル化を本格的に推進するにあたり、コロナ禍の2年間の経験で得られたことについて伺います。

**企画部長** 市民との関わりは、対面からオンラインによることが増加しました。具体的には、オンラインによる市民相談や会議、ヨガ教室等の講座開催、スマートフォンを活用したワクチン関連情報の提供や、給付金手続き等が挙げられます。

**議員** デジタル化について、今後具体的に取り組む内容について伺います。

**企画部長** 今年度は、マイナンバーカードによる各種証明書等のコンビニ交付や、自治体アプリ等の住民向けサービスの拡充に取り組んでいきます。また、デジタル技術を使える職員の人材育成にも、本格的に取り組むたいと考えております。

**議員** コンビニ交付サービスの開始により、行政センターの窓口業務の縮小が懸念されます。デジタル弱者への対応等、対面によるサービスを継続していただきたいと思えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 対面の窓口が必要であるということは確実に言えると思えます。今後の利用状況により、人員配置や対面による手続きの割合等を検討したいと思えますが、現状で変えるつもりはありません。



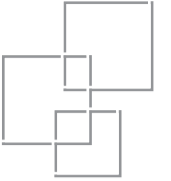
**議員** デジタル化により業務効率化が図られる一方で、相手の表情を見て、直接対応することは今後も重要であると思えますが、所見を伺います。

**市長** 先日の持続化給付金詐欺の事件は、対面であれば絶対になかったと思えます。ただ、SNS等は本市のプライドを高め、施策をPRするには非常に便利なものであり、デジタル化のメリットを追求していくことが必要だと考えます。

6月定例会では、6月13日から15日にかけて18人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、1人1問の質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや各市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで9月下旬からご覧いただくことができます。



## 太田市行政管理公社の現状と課題について



創政クラブ 板橋 明

**議員** 太田市行政管理公社は、市の外郭団体の業務を通じ市民生活を支えています。残念ながらその存在があまり知られていません。そのため、ホームページを開設して、概要を紹介してほしいと思いますが、所見を伺います。

**行政事業部長** 今後はホームページ等を活用して積極的に情報提供を行い、行政管理公社の魅力を発信し、理解を深めてもらうとともに、未来を担う人材を確保していきたいと考えます。

**議員** 太田市行政管理公社は、市の外郭団体の職員を一元管理する、他市に例を見ない優れたシステムです。その機能を強化し、さらに発展させていくためには、一般財団法人として組織的に自立する必要があります。また職員の能力やモチベーションを高める必要があると考えますが、所見を伺います。

**行政事業部長** 自立的な運営を行うためには、行政のパートナーとしての存在感を高め、組織を強化する必要があると考

えます。職員の能力開発を行うとともに、計画的な職員採用により、職員の士気高揚を図りながら、持続可能な組織づくりを推進したいと考えます。



**議員** 行政管理公社の将来的な展望について、市長の所見を伺います。

**市長** 役員を入れ替え、新たな組織として展開するのは難しいと考えます。基本的には、太田市と一体的に動いていくべきだと考えていますので、できるだけ合理的な経営をしながら、一体感を持った団体としていきたいと思えます。

### ■その他の質問

・太田市土地開発公社の財務と今後について



## 本市のGIGAスクールについて



太田クラブ 大川 敬道

**議員** 学習用端末を効果的に活用していくためには、ハード面の充実、特にWi-Fi環境の整備が必要と考えますが、学校内の設置状況について伺います。

**教育部長** 特別支援学級を含む普通教室および理科室、音楽室、英語室等の特別教室へのWi-Fi設置が進んでいます。

**議員** 職員室や体育館には設置されていませんが、学習用端末を使用した授業の準備方法について伺います。

**教育部長** 教室等で学習用端末を使用して準備する場合、職員室で公務用パソコンを使用して準備する場合があります。



**議員** 入学式や卒業式では、会場に入れなかった児童が、教室で式の様子を視聴したようですが、体育館にWi-Fiが

設置されていない中で、どのように対応したのか伺います。

**教育部長** 各学校でWi-Fi機器をレンタルする等、工夫して対応しました。

**議員** 授業準備の効率化や、ICTを活用した効果的な授業という観点から、職員室や体育館にWi-Fi環境を整備すべきと考えますが、所見を伺います。

**教育長** 学習用端末を効果的に活用できるように、職員室や体育館のWi-Fi設置についても検討していきたいと考えます。

**議員** Wi-Fiが設置されていないため、教職員が個人的に用意し、入学式等で使用した事例があったようですが、Wi-Fi設置について、市長の所見を伺います。

**市長** 校長先生や教育委員会に相談してもらい、必要であればレンタルや設置について検討していきたいと思えます。

### ■その他の質問

・行政センターの機能について  
・(仮称)太田西複合拠点公共施設について



## 交通弱者への支援について



創政クラブ 高木 きよし

**議員** 障がい者や要介護者が利用できる福祉有償運送について伺います。

**福祉子ども部長** 一人でタクシーや公共交通機関を利用することが困難な障がい者や要介護者に対し、社会福祉法人等が実費の範囲内で行うサービスであり、事前に登録した人が利用できます。



**議員** 次に、本市の福祉タクシー券について伺います。

**福祉子ども部長** 太田市福祉タクシー料金給付事業は、重度の障がいのある人が社会参加等のためタクシーを利用した場合、その料金の一部を給付することで経済的な負担を軽減するものです。

**議員** 高齢者を取り巻く環境が厳しくなる中、免許証のない高齢者に対し、申

請によりタクシー補助券を配布することについて、所見を伺います。

**市民生活部長** 現在、タクシー補助券の配布は考えておりません。まずは、おながい市バスを利用していただくため、アンケート結果の分析と他市の事例を参考にしつつ、利便性向上に努めていきたいと思っています。

**議員** 本年5月から運転免許更新が厳格化され、自主返納者が増加すると考えられます。返納後も安心して移動できるように、運転免許証のない高齢者で、希望する人に対して、タクシー補助券を配布することについて、市長の所見を伺います。

**市長** おながい市バスを充実させることが行政の仕事だと考えます。また、福祉有償運送や買い物支援の利用など、地域コミュニティによる対応を中心に考えていきたいと思えます。

### ■その他の質問

・旧中島家住宅の整備及び利用について



## 犯罪被害者を支援するための条例の制定について



公明クラブ 高橋 えみ

**議員** 国は犯罪被害者の権利保護策を徐々に前進させていますが、被害者が平穏な暮らしに戻れるような環境整備には至っていないのが現状です。本市における犯罪被害者支援の現状と、具体的な取り組みについて伺います。

**市民生活部長** 冊子の配布やポスターの掲示により、被害者等の立場や気持ちに配慮できる教育、啓発を推進しています。また、群馬県警察本部や被害者支援センター等と連携し、支援体制の充実を図っています。

**議員** 犯罪被害者等支援条例が県内でも制定され始めていますが、条例制定について伺います。

**市民生活部長** 他自治体の動向を注視しつつ、検討していきたいと考えます。

**議員** 本市においても、条例の制定や具体的な支援制度を創設すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 国、県、市がそれぞれの責任を果たし、被害者に対応することが非常に

大切であり、条例もそれらを加味しながら考える必要があると思えます。

**議員** 警察の犯罪被害給付制度は、支給までとても時間がかかります。すぐに葬儀や引っ越しが必要な場合もあり、条例制定にあたっては、それらを加味してほしいと考えますが、所見を伺います。

**市長** 適切な財源や支給の限度について、十分に研究すべきだと思いますので、条例制定に向けて、検討していきたいと思えます。



### ■その他の質問

○きめ細やかな子育て支援について  
・母子健康手帳について  
・周産期のグリーフケアについて

# 6月定例会 一般質問要旨



## 公共施設のネーミングライツの導入について



公明クラブ 前田 純也

議員 本市におけるネーミングライツ導入の考え方について伺います。

総務部長 公共施設は市民に分かりやすく、親しみやすい施設であることが大切であると認識しています。現時点において既存施設への全体的な導入予定はありませんが、引き続き研究していきたいと考えています。



議員 新市民体育館は新たな公共施設であり、維持管理経費の削減を図るためにも、ネーミングライツの導入を検討すべきと考えますが、所見を伺います。

文化スポーツ部長 新市民体育館については、維持管理費の縮減と財源確保を目的として、ネーミングライツの導入を計

画しています。

議員 現在建設中の新市民体育館の完成により、集客増加など大きな成果を期待する一方で、施設の維持管理費の縮減が課題となりますが、改めてネーミングライツ導入に向けて、市長の所見を伺います。

市長 非常に少額で施設の名前が変わってしまうことを危惧しており、今までネーミングライツはやらないと言ってきました。しかし、新市民体育館は、既存施設と集客力や社会的な余波が違うことから、ネーミングライツの募集に向けて協議を進めています。ただし、名前には必ず「太田」を入れることを前提とし、最低でも1千万円以上でなければ権利は渡さないというつもりで、十分に研究していきたいと思ひます。

### ■その他の質問

- ・部活動の地域移行に伴う諸課題について
- ・ヤングケアラーの支援について



## 文化を育てるまちづくりについて



太田クラブ 白石 さと子

議員 おおた芸術学校の活動拠点となる施設について伺います。

文化スポーツ部長 旧中島記念図書館を利用した太田校と、新田庁舎を利用した新田校の2カ所で授業や練習を行っています。どちらも老朽化が進んでおり、きめ細やかな修繕を行いながら、学習環境の整備に努めています。



議員 本市の収蔵絵画の活用方法について伺います。

教育部長 行政センター等の施設に、現在11点の貸し出しを行っており、要望があれば随時貸し出しを行っています。

議員 民間への収蔵絵画の貸し出し実施について、所見を伺います。

教育部長 民間への貸し出しは、破損等の事故に対応するため、保険手続きが必要であり、現在は行っていません。

議員 おおた芸術学校について、よりよい環境の中で練習ができればと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 古い建物の中で大勢の子どもたちが練習しており、限界かと思ひています。新田庁舎を全面改修して、芸術学校の本体として使ってもらえればと考えています。

議員 収蔵絵画の活用方法について、所見を伺います。

市長 今後、新たな企業が太田市に入りますので、新規企業に貸し出していくというも、一つの方法であると思ひます。中に置いたままではなく、できるだけ外に出していくという考え方をしていきたいと思ひます。

### ■その他の質問

- ・公共施設の貸館利用について
- ・母親クラブの現状と今後について



## 富沢町・高林北町の団地について



太田クラブ 神谷 大輔

議員 富沢団地について、地元からの要望とその対応について伺います。



都市政策部長 団地内のごみ捨てのマナーが悪いので対応してほしいとの要望があります。現在、地域の区長と協議しており、外国人入居者に対して、母国語で作成した注意喚起のチラシを配布し、指導するなどの対応を検討しています。

議員 富沢地区では、大型ごみの不法投棄に悩まされていると聞いており、退去時の対応を厳格化していただきたいと考えますが、所見を伺います。

都市政策部長 ごみ出しルールについて定期的・継続的に周知徹底を図るとともに、退去時の手続きの際にも、さらに周知

を行うなど、根気強く対応していきたいと考えています。

議員 多文化共生の推進に向けて、モデル地区を設定し、重点的な取り組みを行うことについて、所見を伺います。

企画部長 モデル地区の設定については、今後外国人集住都市会議の中でも議論し、研究を進めていきたいと思ひます。

議員 外国人が多く居住する地域では、ごみの問題は長く続いている課題ですが、今後の対応について、市長の所見を伺います。

市長 区長や環境保健委員と相談しながら、解決に向けて努力していきたいと思ひます。

議員 団地のある地域や、外国人が多く居住する地域の区長を集め、意見交換等を行う組織をつくることについて、所見を伺います。

市長 非常に良いことだと思ひます。

### ■その他の質問

- ・本市の文化財の活用・管理について



## 学校等における子供たちの活動方針とスクールロイヤーについて



創政クラブ 今井 俊哉

議員 スクールロイヤーとは、学校の問題に精通した弁護士等の法律の専門家が、学校内の多様化する問題の処理を担うものです。いじめや保護者とのトラブル、教員の労働問題など、幅広い分野で効果が期待されますが、本市におけるスクールロイヤーの整備状況について伺います。

教育部長 本市では配置されていませんが、学校が必要とする場合には、県教育委員会に配置されているスクールロイヤーを活用することができます。

議員 本市における県のスクールロイヤーの活用事例について伺います。

教育部長 これまでの活用事例はありません。学校が必要とする場合には市教育委員会の顧問弁護士に相談しています。

議員 私は昨年度から藪塚本町小学校のPTA会長を務めていますが、会則や運営に関して、法律面で適正かどうか一抹の不安を抱えながら活動しています。これは他校のPTAでも同様です。トラブルのない学校運営や適切なPTA活動を担

保する手段としてのスクールロイヤーの必要性について、所見を伺います。

教育長 法的困難事案に対しては、市教育委員会の顧問弁護士を活用し、適切に対応しています。PTA活動では、県のスクールロイヤーを活用することはできませんので、市教育委員会の顧問弁護士の活用を研究していきたいと考えます。

議員 法令に則った組織運営と、それを支えるスクールロイヤーの必要性について、市長の所見を伺います。

市長 契約内容の確認が必要ですが、PTA等、学校に関連する団体の問題に対しては顧問弁護士が動くということで、対応していきたいと思ひます。



# 6月定例会 一般質問要旨



## 太田市のご当地ナンバー登録について



創政クラブ 松川 翼

**議員** 国土交通省において新たなご当地ナンバーの登録受け付けが始まりましたが、制度の変更点について伺います。  
**企画部長** 制度が見直され、単独自治体において、登録車数が10万台に満たない場合でも、登録車と軽自動車の合計が17万台以上であれば申請可能となりました。  
**議員** 本市における現在の登録車数と軽自動車数について伺います。  
**企画部長** 令和4年3月末現在の登録車数は12万87台、軽自動車は自家用車のみですが、7万3,120台です。  
**議員** 本市はどちらの基準も超えており、登録申請可能ですが、県内に他に登録が見込める市があるか伺います。  
**企画部長** 前橋市、高崎市が導入済みであり、伊勢崎市も条件を満たしています。  
**議員** すでにご当地ナンバーを導入している自治体では、郷土愛が深まった、交通マナーの向上につながったというような意見があります。また、図柄も任意に作成できるので、群馬クレインサンダーズのマ

スコットキャラクターである「サンダくん」を起用することで、地域振興やプロスポーツ支援にもつながると考えますが、市長の所見を伺います。



※8月1日月から交付開始された  
原動機付自転車ナンバープレート

**市長** ご当地ナンバーは地域を表現するには非常に良いものですが、太田という狭いエリアを特定されてしまう等の弱点もあります。導入の検討にあたっては、意見が分かれると思いますので、ヒアリング等を行いながら、反応を見る期間をいただきたいと思ひます。

### ■その他の質問

- ・キッチンカー・移動販売車の支援について
- ・児童消防団の設置について



## 子ども達のマスク着用による影響について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

**議員** 幼児のマスク着用状況について伺います。  
**福祉子ども部長** 国の通知に基づき、2歳未満のマスク着用は勧めていません。2歳以上の就学前児童についても、オミクロン株対策以前の取り扱いに戻り、一律にマスク着用を求めないこととされています。  
**議員** 小・中学生のマスク着用の現状について伺います。  
**教育部長** 国の通知により、学校では2桁以上の身体的距離をとり、会話をしないなど対策がとれる場面では、着用の必要はないとしています。また、熱中症予防の観点から、体育の授業、外遊び、部活動および登下校の場面ではマスクを外すよう指導しています。  
**議員** 子どもたちにマスクを外すよう指導をしても、外すことへの不安があるようです。明るく元気な生活へ戻れるよう、市長から発信をしていただきたいと思いますが、所見を伺います。  
**市長** 市民に意識してもらえるように、

あらゆる機会を通して、マスクについて話をし、ゆくゆくはマスクからの解放の日を迎えたいと思っています。

**議員** マスクの着用は、子どもたちの未来を考える上でも重要な問題であると考えますが、所見を伺います。

**市長** 表情やコミュニケーションは人間である大きな証しです。植え付けられた習慣を変えるには、この夏が絶好のチャンスかもしれませんので、ぜひ心がけていきたいと思ひます。



### ■その他の質問

- ・円安、物価高による経済への影響と改善施策について



## 火葬施設使用料助成金について



日本共産党 石井 ひろみつ

**議員** 火葬施設使用料助成金の申請期限を、火葬に付した日から30日以内としている根拠について伺います。  
**市民生活部長** 合併前の旧尾島町、旧新田町で実施しており、旧新田町の提出期限が20日と定められていたことから、これを考慮し、30日以内としました。



**議員** 親族が少ない場合など、申請期間が30日では間に合わないことが考えられるため、申請期限の延長が必要と考えますが、所見を伺います。  
**市民生活部長** 申請期間の延長については、見直しの必要性を含め、今後検討していきたいと思ひます。  
**議員** 助成金の上限額を5万円から

3万円に引き下げた理由を伺います。  
**市民生活部長** 太田市斎場の火葬室を市外の方が利用した場合の使用料は、1体3万円としていることから、整合性を図るために、見直しを実施しました。

**議員** 桐生市で火葬した場合、1万5千円の自己負担が生じることから、上限を5万円か最低でも4万5千円に引き上げるべきと考えますが、所見を伺います。  
**市民生活部長** 現状では助成額の引き上げは考えていませんが、今後、新火葬施設が稼働される際に、改めて検討していきたいと思ひます。

**議員** 火葬施設使用料助成金の上限額見直しについて、市長の所見を伺います。  
**市長** 助成金を出している自治体が珍しく、太田市以外は出していないと思ひます。今までの習慣がありますので、現状を維持していきたいと思ひます。

### ■その他の質問

- ・高齢者の安全な外出機会の確保について



## おうかがい市バスの利便性向上について



日本共産党 水野 正己

**議員** おうかがい市バスについて、身体障害者手帳の交付を受けている人は利用可能で、要介護1以上の人は対象外となっていますが、その理由を伺います。  
**市民生活部長** 要介護と認定された人は、介助が必要と想定されます。運行の安全上、運転手は介助することができないことから、対象外となっています。



**議員** 身体障害者手帳の交付を受けている人にも、介助が必要な人がいるはずであり、介護度で機械的に対象外とするのは矛盾していると考えますが、所見を伺います。  
**市民生活部長** 申請時に自力乗降可能かを聞き取りし、自力で乗降可能と判断

した場合のみ登録しています。制度運用には基準が必要であり、ご理解いただきたいと考えています。

**議員** 要介護認定を受けている人と身体障害者手帳を持っている人を区別するべきではないと考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 自分が健常ではなくなったときに、受けるべきサービスに差異があってはならないと思ひます。高齢者に関わる経費をまとめてみて、その中で、どのようなベーシックサービスができるか検討していきたいと思ひます。

**議員** ベーシックサービスを考えると、タクシー補助券の交付が視野に入ると考えますが、所見を伺います。

**市長** みんなが満足でき、誇りを持てるようなサービスであることが大切だと思ひます。まずは高齢者に関わる経費の洗い出しをしていきたいと思ひます。

### ■その他の質問

- ・土砂災害対策と規制について

# 6月定例会 一般質問要旨



## 本市の人材育成について



創政クラブ 矢部 伸幸

議員 道路の補修や工事など特別な技術を必要とされる業務では、知識や経験を長く継承する必要があると考えますが、所見を伺います。

都市政策部長 年々、現業職員が退職する中で、再任用職員や会計年度任用職員が配属となる場合が多くなっています。新しく配属された職員は、班長を中心に、作業に必要な技術および技能の習得に努めています。

議員 特別な技術や豊富な経験を持つ現業職員の現状について伺います。

企画部長 平成17年3月28日の合併時の現業職員数128人に対し、令和4年4月1日現在では19人となり、平均年齢は54.8歳になります。

議員 技術や知識の継承を考えた人材育成や人事の仕組みを検討すべきと考えますが、所見を伺います。

企画部長 再任用職員の配置や民間委託等による代替を総合的に検討していきたいと考えます。

議員 現場作業では、迅速で丁寧な対応が市民満足度の向上につながっています。しかし、現業職員の減少により、専門的な技術を持つ職員が不足していると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 道路保全課は非常に評判が良く、多くの要望に応えています。満足度が低いのは幹線道路となっていますので、政策的な道路の補修を実施していきたいと思えます。また、現業職員が減少しており、若い人が入らないと次へつなぐことができないというのは、ご指摘のとおりですので、真剣に考え、緊急時等にスムーズに対応できるような体制をとっていきたいと思えます。



## 本市の農業用GAP取得について



太田クラブ 町田 正行

議員 食料や農業の安全確保につながるGAPの概要について伺います。

農政部長 食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証制度です。

議員 GAPを取得することによるメリットについて伺います。

農政部長 販売先から信頼を得られるとともに、消費者は安心して農産物を購入できます。また、作業者の健康や安全への責任ある取り組みや、環境負荷の低減もメリットであります。



議員 取得方法について伺います。

農政部長 取得には、第三者機関の審査が必要です。認証に必要な知識の習得には、自ら研修を受講する方法と指導員

から指導を受ける方法があります。

議員 指導員から指導を受けるほうが農業者も取り組みやすいと考えますが、指導員の育成について、所見を伺います。

農政部長 国や県の動向を注視しつつ、研究していきたいと考えています。

議員 JAを中心に認証取得を推進していきたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 行政としても、本市の農業を確固たるものにするために、積極的に取り組んでいきたいと思えます。

議員 具体的な支援内容を伺います。

市長 JAと協力し、指導員の育成について協議していきたいと思えますので、県の指導も受けながら、早期に取り組んでいきたいと思えます。

### ■その他の質問

#### ○本市のインフラ整備について

- ・下水道事業について
- ・雨水排水計画について
- ・道路整備について

## 委員会では

# 次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果について、定例会最終日に行われた委員長報告から要旨を抜粋してお知らせします。

### 総務企画委員会

#### ■太田市市税条例等の一部改正について

問 本条例の改正による住宅借入金等特別税額控除の期限延長および控除限度額の引き下げが本市の税収に与える影響について伺います。

答 例えば、所得税額が12万円、借入金額が2,500万円、毎年の借入金返済額が20万円減少する条件では、税額控除合計額の減少分の24万4,200円の税収増が見込まれます。本条例改正後は、現在

の税額控除額の多寡にかかわらず、対象者全員の税額控除合計額が減少します。

問 下水道除害施設および貯留機能保全区域の土地に係る「わがまち特例」による課税標準特例の特例率の変更および新設が本市に与える影響について伺います。

答 今回の変更による影響を受ける区域等は、現在確認されていません。

審査結果 原案可決

#### ■太田市都市計画税条例の一部改正について

審査結果 原案可決

### 市民文教委員会

#### ■太田市印鑑条例の一部改正について

問 本条例の改正に伴い提供されるサービス内容を広く周知するための方法について伺います。

答 マイナンバーカードを用いて市内115カ所のコンビニエンスストアおよび1カ所の大型商業施設に設置されている特定端末機から、印鑑登録証明書を取得することが可能となります。広報やホームページ、SNSを活用したり、特定端末機が設置されているコンビニエンスストアにポスター等を張ることで、周知を行いたいと考えています。

審査結果 原案可決

#### ■太田市手数料条例の一部改正について

問 本条例の改正が市民へ与える影響について伺います。

答 条例改正により、住民票の写し等の交付時の手数料が変更になるのではなく、マイナンバーカードを利用し、特定端末機から住民票の写し等が取得できるサービスが始まることにより、市民の利便性の向上が見込めます。

審査結果 原案可決

#### ■太田市総合体育館条例の制定について

問 スポーツの普及振興や地域のにぎわい創出を目的とする施設であることと併せて、避難所機能を有する施設として、災害発生時の施設運営に対する考え方について伺います。

答 本条例には指定管理者に管理を行わせる場合においても、施設の利用許可に係る部分については教育委員会に権限を置いています。災害発生時等は市民の安全確保を最優先に考え、避難所として利用することになります。また、群馬クレインサンダーズのホームアリーナとなる予定ですが、あくまで災害発生時は避難所としての機能を優先させたいと考えています。なお、避難所開設時に必要となる非常食や段ボールベッド等の備蓄については、体育館内の倉庫に収容人数に合わせた量を準備し、万全な受け入れ体制を確立させたいと考えています。

審査結果 原案可決



太田市運動公園 市民体育館

## 健康福祉委員会

## ■太田市国民健康保険税条例の一部改正について

問 新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少について、明確な根拠となるものがない場合でも、国民健康保険税の減免対象となるのか伺います。

答 コロナ禍においてどのような影響によるものか証明することは難しいですが、その影響によって減少した収入の確認は行う予定です。

問 懲戒解雇や離職、転職等が原因により収入が減少した場合でも、減免の対象とならない人がいるのか伺います。

答 新型コロナウイルス感染症が起因となることに限られます。

審査結果 原案可決

## ■太田市介護保険条例の一部改正について

問 新型コロナウイルスの影響による介護保険料の減免について、対象となる人数の見込みについて伺います。

答 今後の新型コロナウイルス感染症の収束や経済活動が回復するかの想定が難しいため、現状では人数の把握は困難であると考えます。

問 国民健康保険税の減免を含めた申請窓口の一本化による申請者の負担軽減への考えを伺います。

答 それぞれ提出するものが異なる申請書類を統一することが難しいため、現状では別々の窓口での申請受け付けとなりますが、いずれの手続きにおいても漏れがないよう、申請者に周知を図っていきたいと考えています。

審査結果 原案可決

## 都市産業委員会

## ■太田市清掃センター条例の廃止について

問 清掃センター廃止に伴う市民からの問い合わせに対する体制づくりについて伺います。

答 太田市外三町広域清掃組合と情報共有しながら、引き続き滞りなく適切な対応を図っていきたいと考えています。

問 コロナ禍でごみの搬入量が増加傾向にある中、クリーンプラザにおける1日当たりの処理量が懸念されますが、所見を伺います。

答 現在、許容範囲内で稼働しています。

審査結果 原案可決

## 全国市議会議長会表彰

5月25日に開催された全国市議会議長会定期総会において、長年にわたり議会制度の高揚、地域振興および住民福祉の向上に寄与し、功績のあった議員に対して表彰状の授与がありました。

## 特別表彰

尾内 謙一 議員(在職35年)

正田 恭子 議員(在職20年)

斎藤 光男 議員(在職20年)

## 一般表彰

久保田 俊 議員(在職15年)

大川 陽一 議員(在職15年)

岩崎 喜久雄 議員(在職15年)

## 5月臨時会

5月13日に開催された臨時会では、まず議長および副議長の選挙を行い、第17代議長に岩崎喜久雄議員、第19代副議長に高藤幸偉議員が当選しました。

その後、議会運営委員会、4つの常任委員会および2つの特別委員会の委員を選出し、それぞれ正副委員長を互選しました。

さらに、一部事務組合議会議員などの選挙を行い、議会構成を決定しました。

また、市長から提出された「太田市監査委員選任の同意について」など16議案について同意または承認、可決しました。

## 一部事務組合・審議会委員一覧表

(令和4年5月13日選任)

名称	氏名
太田市外三町広域清掃組合議会	岩崎喜久雄 前田 純也 八長 孝之 水野 正己 大川 陽一 山田 隆史
群馬県後期高齢者医療広域連合議会	岩崎喜久雄
太田市都市計画審議会	岩崎喜久雄 高田 靖 中村 和正 渡辺謙一郎 大川 敬道
太田市土地開発公社	理事 岩崎喜久雄 高田 靖 中村 和正 渡辺謙一郎 大川 敬道
	監事 白石さと子
群馬東部水道企業団議会	岩崎喜久雄 矢部 伸幸 町田 正行

## 5月臨時会の

## 議案の審議結果をお知らせします

## 《市長提出議案》

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
議案第29号	太田市監査委員選任の同意について	省略	同意	賛成全員
議案第30号	太田市固定資産評価員選任の同意について	省略	同意	賛成全員
議案第31号	令和3年度太田市一般会計補正予算(第10号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第32号	令和3年度太田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第33号	令和3年度太田市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第2号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第34号	令和3年度太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第35号	令和3年度太田市八王子山墓園特別会計補正予算(第2号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第36号	令和3年度太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第37号	令和3年度太田市太陽光発電事業特別会計補正予算(第2号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第38号	太田市市税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	省略	承認	賛成多数
議案第39号	太田市都市計画税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	省略	承認	賛成多数
議案第40号	太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	省略	承認	賛成多数
議案第41号	太田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成多数
議案第42号	市長等の給与に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第43号	太田市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第44号	太田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成多数

# 太田市議会常任委員会等委員一覧表

議長 岩崎 喜久雄 副議長 高藤 幸偉 監査委員 星野 一広  
(令和4年6月13日選任)

委員会名	委員名
議会運営委員会	◎ 今井 俊哉 ○ 高木きよし 水野 正己 高橋 えみ 大川 敬道 久保田 俊 斎藤 光男 町田 正行 白石さと子
総務企画委員会	◎ 渡辺謙一郎 ○ 松川 翼 長ただすけ 神谷 大輔 水野 正己 久保田 俊 岩崎喜久雄 町田 正行
市民文教委員会	◎ 中村 和正 ○ 板橋 明 松浦 武志 尾内 謙一 星野 一広 矢部 伸幸 山田 隆史 白石さと子
健康福祉委員会	◎ 高田 靖 ○ 八長 孝之 高橋 えみ 高木きよし 高藤 幸偉 斎藤 光男 正田 恭子
都市産業委員会	◎ 大川 敬道 ○ 木村 浩明 石井ひろみつ 前田 純也 今井 俊哉 大川 陽一 木村 康夫
議会改革 推進特別委員会	◎ 矢部 伸幸 ○ 長ただすけ 前田 純也 水野 正己 高木きよし 今井 俊哉 高田 靖 木村 浩明 渡辺謙一郎 山田 隆史 町田 正行 白石さと子
ごみ減量対策 調査特別委員会	◎ 高橋 えみ ○ 松浦 武志 石井ひろみつ 八長 孝之 板橋 明 大川 敬道 久保田 俊 斎藤 光男

◎委員長 ○副委員長  
※委員名欄の委員につきましては、議席番号の昇順で記載してあります。

# 会派・会名簿

(令和4年6月7日現在)

会派名	氏名
太田クラブ (13名)	○ 白石さと子 神谷 大輔 八長 孝之 木村 浩明 中村 和正 渡辺謙一郎 大川 敬道 岩崎喜久雄 斎藤 光男 正田 恭子 山田 隆史 町田 正行 木村 康夫
創政クラブ (11名)	○ 久保田 俊 松川 翼 長ただすけ 松浦 武志 高木きよし 板橋 明 今井 俊哉 高田 靖 高藤 幸偉 矢部 伸幸 大川 陽一
公明クラブ (3名)	○ 高橋 えみ 前田 純也 星野 一広
日本共産党 (2名)	○ 水野 正己 石井ひろみつ

○印は代表者

会名	氏名
市民の会	尾内 謙一

## 6月定例会の

# 議案の審議結果をお知らせします

### 《市長提出議案》

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
報告第1号	令和3年度太田市一般会計継続費繰越計算書について	—	報告	—
報告第2号	令和3年度太田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	報告	—
報告第3号	令和3年度太田市下水道事業等会計継続費の繰越しについて	—	報告	—
報告第4号	令和3年度太田市下水道事業等会計予算の繰越しについて	—	報告	—
議案第45号	令和4年度太田市一般会計補正予算(第2号)について	省略	可決	賛成全員
議案第46号	太田市市税条例等の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第47号	太田市都市計画税条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第48号	太田市印鑑条例の一部改正について	市民文教	可決	賛成多数
議案第49号	太田市手数料条例の一部改正について	市民文教	可決	賛成多数
議案第50号	太田市総合体育館条例の制定について	市民文教	可決	賛成多数
議案第51号	太田市国民健康保険税条例の一部改正について	健康福祉	可決	賛成全員
議案第52号	太田市介護保険条例の一部改正について	健康福祉	可決	賛成全員
議案第53号	太田市清掃センター条例の廃止について	都市産業	可決	賛成全員
議案第54号	財産の取得について	省略	可決	賛成全員
議案第55号	西部消防署庁舎建設建築工事請負契約締結について	省略	可決	賛成全員
議案第56号	(仮称)太田市運動公園市民体育館建設工事請負契約締結についての変更について	省略	可決	賛成多数

### 《議会提出議案》

番号	件名	付託先	結果
議案第2号	地方財政の充実・強化に関する意見書	総務企画	採決

### 《請願》

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
請願第13号	地方財政の充実・強化に関する意見書のことについて	総務企画	採択	採択

### 《陳情》

番号	件名
陳情第24号	コロナ感染拡大防止策に関することについて
陳情第25号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求めることについて
陳情第26号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関することについて

## 地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化の進展にともなう子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、また人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、あるいは行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められつつある。

しかし、現実に地域公共サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また近年多発している大規模災害への対応も迫られている。これらに対応するための地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしているが、それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されている。

このため、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、下記の事項の実現を求める。

### 記

- 1 社会保障の維持・確保、防災・減災また脱炭素化対策、地域活性化におけた取り組みや、デジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 とりわけ、子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充をはかること。また、これらの分野を支える人材確保におけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
- 3 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正においては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
- 4 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の確保、感染症対応業務のみに限定しない、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化まで踏まえ、十分な財源措置をはかること。また、コロナ禍対策として行った固定資産税の軽減措置については2022年度をもって終了するとともに、今後、国の施策の一環として、各種税制の廃止や変更、また減税等を検討する際は、地方の財政運営における予見性を損なわないよう、十分に地方団体等の意見を反映し、慎重に検討すること。
- 5 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円については持続可能な地域社会の維持・発展におけて恒久的な財源とすること。また、同規模の財源確保はもとより、その拡充を含めて検討すること。
- 6 会計年度任用職員制度の運用においては、今後も当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、さらなる財政需要を十分に満たすこと。
- 7 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
- 8 デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化におけ、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着化していく過渡期において生じ得る行政需要についても、人材・財源を含めた対応を行うこと。
- 9 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める地方公共団体への譲与額を増大させるよう、その譲与基準を見直すこと。
- 10 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了への対応、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月29日  
太田市議会議長 岩崎 喜久雄